

第 240 回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会の議事録

部会長 村山元理

日時 平成 31 年 2 月 25 日 (月) 18:00-20:00

場所 企業家ミュージアム (丸和ビル 2 F 外神田 2-2-19)

参加者 宇佐神、山本、井上、長塚、久恒響子、村山 六名

欠席届 青木、緒賀、新川、望月、大塚、佐藤 (体調不良)

報告 C. I. バーナードの共通目的は経営理念か？

ー経営哲学学会九州部会 (2 月 24 日) の報告にからめて 村山

・磯村和人 (中央大) の「実践的な経験科学の構築に向けて：バーナードの方法」の概要の紹介：概念化において価値を内在した理論展開を行っており、経験主義とは異なる理論構築を行っている。現在のアメリカ経営学の実証主義を批判する。

・ (村山) 営利・非営利の組織トップを勤めながら管理的組織論の高峰を築いた米国人バーナードの組織論の初歩を概説。バーナードは組織とは目的のもとに 2 人以上の諸力の協働システムととらえ、公式組織の 3 要素には共通目的、協働意思 (貢献意欲)、コミュニケーションがあるとした。これらの概念には価値が内在している。また組織に維持には道徳的創造性が必要であり、道徳・倫理が内在化した理論となっている。目的の達成度は組織の有効性であり、満足感の程度は組織の効率性を意味する。共通目的、道徳準則という概念は、経営理念に近い概念設定と想定できるのではないか。

・ (山本) : 山城経営学でも KAE (知識、能力、経験) で産学一体の理論展開をして、経験に関する理論がある。東洋の理論、陽明学に基づいた経営学理論を作るべきだ。

女性企業家の経営理念の研究・質問項目 (継続)

・ (宇佐神) 英米系の操作の対象とする共同体論ではなく、ドイツ系の共同体理論としてアルノルト・ゲーレンの哲学を研究すべき。『人間—その本性および自然界における位置』法政大学出版。 和辻の観点も必要。

・ (井上) 女性企業家の研究資料を国会図書館で複写、環境ビジネスを見える化して女性の視点でビジネス再構築した石坂産業の石坂典子の研究。4 月以降インタビューへ。

・ (長塚) SDG s の視点も入れて、停滞した研究を前進して欲しい。朝日 SDG s フォーラム

・ (久恒) JAL の経営理念浸透の具体例について、涙を流して語ろうとした JAL のプライベートアテンダントの話。

質問項目の追加、

・ 経営理念の概要、浸透、実践 ・ 社員の勤続年数、定着度

・ 起業の動機 子育てする母の強さは女性固有の価値観ではないか？

・ RQ: 経営理念に女性固有の価値観はあるのか 仮説「女性らしさ」はあるのか？

今後の予定 毎月第4月曜日 18:00-20:00

3月25日(月) 企業家ミュージアム

4月22日(月) 企業家ミュージアム

5月27日(月) 企業家ミュージアム